

焼津は マグロ の本場でもあり贅沢であるが、ここは気を大きく？持って食べることにした。

舌にとろけるような食感と本場の新鮮さが加わり、味は折り紙付きで久しぶりに堪能した。

お陰さまで 16 ケも食べてしまい予算 オーバー となったが、その分、今日の宿泊代が安かったの
で チャラ になった。

正に、“ご利用は計画的に ” であり、“ 塩(円)分も控えめ ” と反省したのであった。

何故、予算 オーバー する位、16 ものお寿司を食べたのかと叱られるかも知れないが訳があった。

美味しいのは勿論だが、「おすし16」は「4×4=16」と津軽弁を使うとこうなるからであった。

ここで回文を紹介すると「静かな夜は 夜中寿司」で

「しずかなよはよなかずし」である。

寝床は大広間の利用であり、これまた久しぶりで格別であった。

大広間で寝るなんて、宴会で酔ってそのまま放置されたようでもあり、少しばかり抵抗があった。

修学旅行で大広間に寝たこともあったが、今日は“ 枕投げ ” 遊びはせず静かに眠ることにした。

宮城県北部の地震で被災した人から見れば、温泉に入って大広間で寝られるとはこんな贅沢はな
い気がした。

宮城県では被災した人は、簡易浴場と簡易 テント で寝ていると思った。

地震で“ 避難 ” している人から見れば、こんな旅をしていることが“ 非難 ” されても仕方がない
とも思った。

大広間には数人の客がもう寝ており、明日からの計画を立て直すには迷惑と思ひ、ロビー ? で
時刻表を見ながらこれからの予定を見直した。

入った風呂は余りにも大きな風呂であったけれど、“ 大風呂敷を広げる ” 計画は立てなかった。

ロビー には若者達もおり、聞くと小生と同じ旅人で大雨の被害者? で一時的な避難者であった。

「大政・小政」達は今頃、何処まで行ったか? 何処で何をして何とやら? と気にしつつこの宿を紹介
紹介してくれた オバ さんに感謝しながら、何時もより早い眠りに就いた。

そして、大浴場に入ったので、夫婦 2 人で ニューヨーク 旅行をしている夢も見た。

しかし、世の中はそんなに甘いものではなく、大浴場の中でも夢の中でも大幅な遅れを挽回する
今後の大きな、“ プロジェクト ” ならぬ“ フロジェクト ” 計画を考えていた。

